

目次

◇情報

- ▽「アクセシブルデザイン関連 J I S 2種発行」
- ▽「『パスモ』鉄道・バス復権の原動力に」
- ▽「アクセシビリティリーダー1期生を認定／広島大学」
- ▽「バリアフリー地図で宇治観光／京都」
- ▽「トイレの場所、GPSで案内携帯電話サービス実験／名古屋」
- ▽「県初のバリアフリー新法認定ホテル／沖縄」
- ▽「聴覚障害者外来開設へ／昭和大病院」
- ▽「ユニバーサルデザイン導入の第1号駐車場／東京」
- ▽「障害者アスリート就労支援」
- ▽「障害者団体で初、認定NPO法人に／DPI日本会議」
- ▽「手話や字幕付け遠隔講義／筑波技術大」

◇募集

- ▽「障害者への学習支援プログラム参加者募集／東大・マイクロソフト」
- ▽「平成19年度『障がい者福祉助成金』募集／ヤマト財団」
- ▽「障害のある子どもへの対応における実践研究事業の委嘱先を募集」
- ▽「平成19年度 手話教室の開催／交通エコロジー・モビリティ財団」

◇報告書・書籍紹介

- ▽『福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト 新版 やさしい福祉住環境安心できる住まいとまちづくり』
- ▽『スウェーデン社会福祉入門 スウェーデンの福祉と社会を理解するために』
- ▽『「色」の大研究 2色のはたらき』
- ▽『社会福祉用語辞典 4訂』
- ▽『福祉国家の姿とコミュニケーション労働（全通研学校講義集－手話を学ぶ人たちの学習室－） 発達保障の福祉の視点から』
- ▽『日本の図書館 2006 統計と名簿』

◇報告会・発表会・イベント

- ▽「JIS・海外規格説明会・講演会のご案内／日本規格協会」
- ▽「西日本最大の総合福祉展『バリアフリー2007』／バリアフリー展事務局」
- ▽「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー／交通エコロジー・モビリティ財団」
- ▽「電気通信アクセシビリティ・シンポジウム／総務省」

=====

◆情報

▼「アクセシブルデザイン関連 J I S 2 種制定」<http://www.jisc.go.jp/>

3 月 2 0 日、アクセシブルデザイン関連の J I S 2 種が、発行された。

1)JISS0026 高齢者・障害者配慮設計指針－公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置

2)JIST0922

高齢者・障害者配慮設計指針－触知案内図の情報内容及び形状並びにその表示方法

▼「『パスモ』鉄道・バス復権の原動力に」

関東の私鉄、バスの共通 IC カード乗車券「PASMO (パスモ)」が、JR 東日本の「Suica (スイカ)」との相互利用を売り物に、18 日から運用が始まった。当初は、鉄道 23 社、バス 31 社で発足。参加事業者は順次拡大し、近い将来には、首都圏のほとんどを網羅する。マイカーに圧倒されている他地域に比べ、首都圏では鉄道やバスが健闘している。だが、人口減や高齢化の進展で先行きは必ずしも明るくない。事業者は IC カードの導入を、「公共交通機関の復権の切り札に」と期待している。高齢者は券売機での乗車券購入が苦手とされる。手間のかからないカードで、「出無精の解消」を狙っている。

(読売新聞・2007 年 3 月 17 日)

▼「アクセシビリティリーダー1 期生を認定／広島大学」

日本の大学初のアクセシビリティリーダー育成プログラムを 06 年 4 月から開始し、07 年 2 月をもって、第 1 期生の育成プログラムを完了。3 月 5 日、認定証授与式が行われた。大学卒業後には、アクセシブルなサービスをプロデュースする企画開発担当者、環境コーディネーター、ユニバーサルデザインのアイデアを積極的に盛り込む製品開発者など、アクセシビリティを総括的にコーディネートできる人材として、民間および行政における活躍が期待される。

詳細：広島大学ボランティア活動室 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiuniv/al/>

▼「バリアフリー地図で宇治観光／京都」

障害者の宇治観光の手引きとなる「宇治観光福祉マップ」を、市観光協会が発行。宇治観光ボランティアガイドクラブのメンバーらが調査しまとめた。同市は障害者の観光客が増えており、においや手触りで案内する福祉ガイドが好評なことから、マップづくりを提案。世界遺産の平等院や宇治上神社をはじめ、段差やスロープ、点字案内板の有無、補助犬同伴の可否など 13 項目が図に配した記号で一目で分かる。

(京都新聞・2007 年 3 月 15 日)

▼「トイレの場所、GPS で案内携帯電話サービス実験／名古屋」

最新の情報技術 (IT) で視覚障害のある人たちの外出不安を緩和しようと、総務省の委託で金沢市の IT 会社が GPS 携帯を活用した情報サービスを構築した。GPS 携帯が視覚障害者のいる位置を測定。その位置情報が通信サーバーに送られ、最も近い公共トイレの場所情報を音声案内する仕組み。「最寄りのトイレは〇〇デパートの 1 階にあります。」「洋式で向きは左。トイレトペーパーは…」といった具合。将来的には民間でのサービス実施

、普及を目指す。

(中日新聞・2007年3月3日)

▼「県初のバリアフリー新法認定ホテル／沖縄」

オキナワ・マリオット・リゾート&スパは、沖縄県内で初めてバリアフリー新法の認定を受けた。客室数については全361室のうち、バリアフリールームを含むユニバーサルデザインルームが36室と、全客室に占める割合が全国一。さらに現在、一部施設の改善を目的とした工事を進行しており、終了次第バリアフリー新法の認定マークを掲示するとしている。

(日刊トラベルビジョン・2007年3月3日)

▼「聴覚障害者外来開設へ／昭和大病院」

昭和大学病院は、耳の日の3月3日に聴覚障害者外来を開設。大学病院が聴覚障害者外来を持つのは初めて。専門外来では、手話通訳者のほか、手話ボランティアが来院者を支援。さらに、病気に関連する手話のイラストなどを網羅した受診便利帳を配備。外来は、内科疾患が対象だが、病気によっては他診療科に紹介する。予約はファクス(03・3784・8822)で。

(読売新聞・2007年2月27日)

▼「ユニバーサルデザイン導入の第1号駐車場／東京」

東京都道路整備保全公社は3月14日、ユニバーサルデザイン・ガイドラインに基づく駐車場の第1号をオープンさせる。所在地は環状8号線練馬中央陸橋の高架下。収容台数は45台で、障害者用と福祉車両用のスペース各1台分のほか、車両のドアを全開にできる幅3.5mの駐車スペース4台分を設置する。ICカードによる入出庫システムを採用し、事前精算機は、車イス利用者が接近しやすい構造となっている。

(NIKKEI BP NET・2007年2月25日)

▼「障害者アスリート就労支援」

パラリンピックなどで活躍する障害者に雇用の機会を提供したいと、NPO法人「日本パラリンピック支援機構」は12日、「障害者就労支援アスリートプロジェクト」を始めると発表。障害者の人材紹介事業を行っているテンプスタッフフロンティアなどが加わり、働きたい障害者と、雇用したい企業を募り、双方の条件が合えば雇用が成立する仕組み。採用した企業は、一定割合の手数料を払う必要があるが、その一部は競技生活を送る障害者の支援に使われる。

(読売新聞・2007年3月12日)

▼「障害者団体で初、認定NPO法人に／DPI日本会議」

障害者団体「DPI(障害者インターナショナル)日本会議」が、障害者自身が運営する団体としては初めて認定NPO法人になった。認定法人になれば個人や企業が寄付した場合、所得などが控除される。同会議は「誰でも参加できる全国集会を開催するなど、収益を広く社会に還元してきたことが評価されたのではないかと話している。

(毎日新聞ユニバーサロン・2007年3月3日)

▼「手話や字幕付け遠隔講義／筑波技術大」

聴覚視覚障害のある学生が学ぶ筑波技術大は、全国の大学や短大に通う聴覚障害の学生のための総合的な支援窓口を新年度に開設する。大学・短大の受け入れ態勢が不十分なため、同大はインターネットを通じて他大学の講義にリアルタイムで手話や字幕を付けるなどし、聴覚障害者の進学や社会参加を促す考え。

(毎日新聞・2007年2月18日)

=====

◆募集

▼「障害者への学習支援プログラム参加者募集／東大・マイクロソフト」

東京大学先端科学技術センターとマイクロソフトは、障害のある高校生などを対象にした学習支援プロジェクトを共同で実施する。アメリカでは全大学生の10%以上が障害者なのに対し、日本では2%以下なのが現状。このため、アメリカと同様に「障害を持つ若者が高等教育を受け、就職につながるスキルと社会性を身につけること」がプロジェクトの趣旨。第1回目大学体験プログラムとして、7月25日～29日に同センターでの講義や、最新のITなどを利用した学習講座などを予定。

問い合わせ先：<http://doit-japan.org/> (読売新聞・2007年3月15日)

本件は終了しました。

▼「平成19年度『障がい者福祉助成金』募集／ヤマト財団」

「障がい者施設の改善、整備、備品等の購入に対する助成」などの一般助成と「障がいのある大学生に対する奨学金の支給」を行う。

受付期間：3月1日～3月31日（奨学金の受付は5月10日まで）

詳細：(財)ヤマト福祉財団 <http://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy/>

▼「障害のある子どもへの対応における実践研究事業の委嘱先を募集」

文部科学省は、「障害のある子どもへの対応におけるNPO等を活用した実践研究事業」の募集を行う。今回の募集は、障害のある子どもの教育に先導的な取組を行っているNPO等に対し研究を委嘱し、その研究成果をもって、今後の一人一人のニーズに応じた適切な支援の在り方等の検討に役立てるもので、民間活力を活用する。嘱先は、障害のある子どもと保護者等へ指導・支援を行っている実績のあるNPO等、営利を目的としない団体。

<http://www.fukushi.com/news/2007/02/070226-b.html>

(ふくしチャンネル・2007年2月26日)

▼「平成19年度 手話教室の開催／交通エコロジー・モビリティ財団」

交通事業者の方を対象に東京地区、大阪地区において手話教室を開催。

受講対象者：交通事業に従事している方を対象。

開催期間：5月～11月の7ヶ月間25回

詳細：http://www.ecomo.or.jp/barier_free/shuwa/shuwa_h19.htm

(交通エコロジー・モビリティ財団)

=====

◆報告書・書籍紹介

▼『福祉住環境コーディネーター検定試験 3 級公式テキスト 新版 やさしい福祉住環境安心できる住まいとまちづくり』

福祉住環境コーディネーターをめぐる事情の変化を反映させた「改訂新版」。生活者の皆に知って欲しい福祉一般の基本的知識も併載。

東京商工会議所編 発行：東京商工会議所検定事業部検定センター

本体価格:2,500 円 ISBN:4-924547-46-8

▼『スウェーデン社会福祉入門 スウェーデンの福祉と社会を理解するために』

世界中でもスウェーデンは福祉の最先端をいく福祉先進国と見なされている。その自然・文化・社会システム、児童福祉サービス、障害者福祉、高齢者福祉を解説、今なお混迷した状況から脱していない日本の対応を見つめ直す。

著者：高島 昌二（たかしま・しょうじ） 発行：晃洋書房

本体価格:2,300 円 ISBN:4-7710-1815-4

▼『「色」の大研究 2 色のはたらき』

色が見えるしくみ、色のつくり方、色による性質の違い、暮らしの中での利用、色のユニバーサルデザイン、色とかかわる仕事などについて、マンガやクイズを用いてわかりやすく解説する。

日本色彩研究所監修 発行：岩崎書店 本体価格:2,800 円 ISBN:4-265-04262-7

▼『社会福祉用語辞典 4 訂』

社会福祉六法を中心に、保健、医療、福祉、年金、雇用等の分野の行政施策に関する用語から専門的な用語まで、約 27000 語を幅広く抽出し、わかりやすく解説。改正介護保険法、障害者自立支援法等の最新制度に対応。

中央法規出版編集部編 発行：中央法規出版 本体価格:3,800 円 ISBN:4-8058-2843-9

▼『福祉国家の姿とコミュニケーション労働（全通研学校講義集—手話を学ぶ人たちの学習室—） 発達保障の福祉の視点から』

2006 年夏に開催された全国手話通訳問題研究会の「全通研学校」講義録。新しい福祉国家を構築するという視点から、今後の福祉を考察。また、コミュニケーションは暮らしや社会にどのような役割を持っているのかを考える。

著者：二宮 厚美（にのみや・あつみ） 発行：文理閣

本体価格:1,048 円 ISBN:4-89259-542-X

▼『日本の図書館 2006 統計と名簿』

国立国会図書館、公共図書館、大学図書館について、統計編では職員数、蔵書冊数他の詳細なデータを、名簿編では所在地、館長名、開閉館時刻他のデータを提供する。点字図書館や図書館関係団体一覧も掲載。

日本図書館協会図書館調査事業委員会編集

発行：日本図書館協会 本体価格:13,000 円 ISBN:4-8204-0621-3

=====

◆ 報告会・発表会・イベント

▼ 「JIS・海外規格説明会・講演会のご案内／日本規格協会」

新しく制定又は改正された JIS、国際規格（ISO、IEC 等）、海外の団体規格のうち基礎的・共通的な規格に関する規格・書籍を中心に、社会的に影響が大きいものについて説明会／講演会／シンポジウムを開催。

ISO/CD 9001・9004 要点解説説明会

【東京】：4 月 6 日(金) 13:30～17:10 科学技術館 地下サイエンスホール

【大阪】：4 月 9 日(月) 13:30～17:10 日本規格協会 関西支部 7 階

詳細： <http://www.jsa.or.jp/standard/meeting.asp>

本件は終了しました。

▼ 「西日本最大の総合福祉展『バリアフリー2007』／バリアフリー展事務局」

第 13 回 高齢者・障害者の快適な生活を提案する総合福祉展。300 社を超える出品に加え、「目のみえない方・見えにくい方のための展示コーナー」（日本ライトハウス企画）、「ファイン財団パビリオン」「e-AT パビリオン」など情報量豊かな特別企画コーナーを多数開設。また、基調講演やセミナーなど多彩なセミナーの開催を予定。

会期および開場時間：4 月 12 日(木)～14 日(土)、10 時～17 時

会場：インテックス大阪 詳細： <http://www.itp.gr.jp/bf/>

本件は終了しました。

▼ 「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー／交通エコロジー・モビリティ財団」

～交通バリアフリーと地域公共交通の新たな展開 先進事例に学び、今後の発展方向を考える～

日時：4 月 26 日(木) 13:00～17:00 場所：豊中市立アクア文化ホール

定員：490 名 締切：4 月 13 日 参加費：無料

対象者：交通事業者、行政関係者、研究者、NPO、ボランティア団体 など

詳細： http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

(交通エコロジー・モビリティ財団)

本件は終了しました。

▼ 「電気通信アクセシビリティ・シンポジウム／総務省」

情報通信アクセス協議会と共催で、高齢者や障害者が電気通信機器やサービスを円滑に利用できるよう、電気通信アクセシビリティの向上の促進のために、シンポジウムを開催。

日時：3 月 26 日(月) 13 時 30 分～16 時 15 分 会場：財団法人道府県会館 101 大会議室

詳細： http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/070305_2.html

本件は終了しました。

=====

アクセシブルデザイン通信 第 19 号・発行：アクセシブルデザイン推進協議会

・発行年月日：平成 19 年 3 月 20 日 引き続き、情報の提供をお願いいたします。

FZG01477@nifty.com (星川)

=====